

移住者と共につくる

地方創生

シンポジウム
2016

離島・過疎・都市部

それぞれの地域にあった

移住のあり方を考えよう



2016 12/6 TUE.

開場 13:30 開演 14:00

場所 沖縄県立博物館・美術館 講堂 参加費 無料

※ 駐車場は博物館・美術館の観覧者も利用しますので、公共交通機関でのご来場をお願いします。

お申込み web応募フォーム、または裏面の申込用紙に必要事項をご記入のうえFAXしてください。



web応募フォーム ※QRコードからも応募できます。

<https://goo.gl/rq6H7h>

お問合せ TEL:098-943-3064 FAX:098-943-3144

担当:平田・森安(株式会社ルート)

主催 沖縄県(受託:株式会社ルート/特定NPO法人ふるさと回帰支援センター)

基調講演

「現実の構造把握から考える、沖縄県における移住定住促進の意義とこれからの可能性」

株式会社日本総合研究所 主席研究員 ^{もたに} 藻谷 浩介 氏

パネルディスカッション

「地域にあった移住のあり方を考える」

コーディネーター 石垣市役所企画部 部長 平良 斗星 氏 須藤 圭亮 氏 調整中 都市部の自治体職員

東村老人会 副会長 沖繩移住ライフハック 主催 佐藤 光春 氏 ビノ子 氏 仲原鍾乳洞 洞主 宮古島市城辺仲原区 区長 上里 勝彦 氏

沖縄の地方創生につながる「移住促進」とは

「地方創生」の掛け声のもと、全国で様々な取り組みが進んでいます。中でも、各地が一斉に取り組んでいるのが「移住定住促進」です。東京・大阪で行われる移住フェアの出展自治体や参加者は、年々増加し、その熱はとどまるところをしません。

全体的に人口増加基調の沖縄県でも、将来的には減少が見込まれることから、シンポジウムや移住体験モニターツアーなどの様々な取り組みを開始しており、また県内各市町村でも協議会が立ち上がるなど、移住に対する意識は高まりつつあります。

地域における移住施策は、単なる人口増ではなく、地域の活性化につながるものでなくてはなりません。そのためには、地域の状況に応じた人材をいかに確保するのか、それと移住をどのように結びつけていくのか考えていく必要があります。

そこで、今回ご登壇いただくのは、藻谷浩介さんです。全国をくまなく回ったその知見と、印象ではなくデータからの分析により、地域の施策を正しく見つめ続けてきました。藻谷さんと共に沖縄の現状を把握しながら、沖縄の課題を踏まえたくうえで地方創生につながる移住促進のヒントをいただくとともに、パネルディスカッションでは現状を踏まえたくうえで、特に状況が大きく異なる都市部と離島・やんばる地域での移住の実態を伺い、全県的な移住施策はどのようにあるべきかを考えていきます。

タイムテーブル

14:00 - ご挨拶

安慶名 均 (沖縄県 企画部 企画調整統括監)

14:10 - 基調講演

「現実の構造把握から考える、沖縄県における移住定住促進の意義とこれからの可能性」
藻谷 浩介 (株式会社日本総合研究所 主席研究員)

15:10 - 休憩

15:20 - パネリスト自己紹介と取り組み

コーディネーター

- ・平良 斗星 (株式会社エフエム那覇 会長
公益財団法人 みらいファンド沖縄 副代表理事)

パネリスト

【市町村】

- ・須藤 圭亮 (石垣市役所企画部 部長)
- ・都市部の自治体職員(調整中)

【先輩移住者】

- ・佐藤 光春 (東村老人会副会長)
- ・ピノ子 (沖縄移住ライフハック主催)

【地域の世話役】

- ・上里 勝彦 (仲原鍾乳洞 洞主、宮古島市城辺仲原区 区長)

16:20 - パネルディスカッション

「地域にあった移住のあり方を考える」

17:30 - 終演

司会:平田直大 (株式会社ルーツ 事業統括)

基調講演・パネリスト

もたに

株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 氏

山口県生まれの52歳。平成合併前3,200市町村のすべて、海外79ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。2000年頃より、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。近著にデフレの正体(角川Oneテーマ21)、里山資本主義(角川Oneテーマ21)、金融緩和の罠(集英社新書)、しなやかな日本列島のつくりかた(新潮社)、和の国富論(新潮社)。現在、沖縄タイムスにて「着眼大局」を、第一日曜日に掲載中。



◎青木優佳氏

コーディネーター

株式会社エフエム那覇 会長
公益財団法人 みらいファンド沖縄 副代表理事

平良 斗星 氏

那覇市首里出身。コミュニティFMの「地域円卓会議」というまちづくりの手法を用い、沖縄県内各地で地域活性化に関するミーティングのファシリテーションを通算30回以上実施。県や市町村主催の様々なシンポジウムでのコーディネーター経験多数。

パネリスト

石垣市役所企画部 部長

須藤 圭亮 氏

仙台市出身。内閣府に入府。これまで、少子化対策や子育て支援を始めとする地域活性化に関する施策を担う。昨年7月から、地方創生の推進のため、国から市町村への人材派遣の枠組で石垣市に転向。日々、石垣の魅力の発掘・創造・発信に奔走中。CCRCの創設や、移住者受入れのための地域ネットワーク形成など移住・定住施策においても新たに取組を始めている。

※ [その他お一人調整中] 都市部自治体職員

パネリスト

東村老人会副会長

佐藤 光春 氏

大分県出身。大手酒造メーカーの技術職を退職後、2009年に沖縄に移住。東村で空き物件を探し移住検討後1年後によく移住。小さい規模から農業を始め、今ではバナナやエビイモなどの珍しい種類の野菜の栽培も手掛ける。また地区の老人会活動にも積極的に関わっていたことから、区内老人会副会長および村老人会副会長にも就任。

沖縄移住ライフハック主催

ピノ子 氏

埼玉県出身。千葉県出身で沖縄移住希望が強かった彼氏との結婚を機に2014年に沖縄移住。夫婦で移住の顛末をまとめるとともに、様々な移住に関わる情報を取りまとめてネットで発信をし、移住希望者への情報提供を行っている。今年度で那原町からうるま市に引っ越し。県情報産業振興課の東京での移住イベントにもゲストスピーカーとして本年度登壇。

仲原鍾乳洞 洞主

宮古島市城辺仲原区 区長

上里 勝彦 氏

宮古島市出身。本年度事業において、地域の世話人養成塾参加。平成24年度宮古島市地域活性化モデル地区に選定された仲原地区の活性化に尽力し、今後移住者受け入れも積極的に行っていく予定。

お申込み いくつかの方法でお申込みください。

① FAXで申込み



098-943-3144 以下に記入の上、送信ください。

② web応募フォームで申込み

<https://goo.gl/rq6H7h>

QRコードからも
応募できます



法人名・団体名 (部署名)			
住所	〒	—	メールアドレス
参加者名			
FAX番号	()	電話番号	()

※全項目のご記入をお願いします。また、3名様までの申込みができます。※参加受付の完了連絡は、お申込みいただいた方法で行います。数日経っても連絡がない場合は、ご連絡ください。
※本会場は、立ち見での聴講はできません。申込み後にキャンセルされる場合は、お早めにご連絡をお願いします。 ※●FAXで申込みされた場合、FAXにて予約番号を連絡いたします。

お問合せ

TEL:098-943-3064 FAX:098-943-3144

担当:平田・森安(株式会社ルーツ)

予約番号